

# 廃棄物減量等推進員さん リサイクル工場を視察



トレーをリサイクルするエフピコ中部工場を視察

町では、2月26日廃棄物減量等推進員など41人の皆さんを対象に、岩倉市と大垣市のガラスびんの関係の工場と輪之内町にあるトレーの工場計3カ所のリサイクル工場を視察しました。この視察研修は「分別回収された資源ごみは、どこでどのような形でリサイクルされているのか」などの声があり、廃棄物減量等推進員や町内会長の皆さんに、どのような工程で加工・再生されていくのかを視察研修していただくために計画をしたものです。

今回の視察で、ごみを分別することにより、ごみが再利用でき、資源が有効に活用できることを学び、分別の大切さを実感することができたかと思います。

廃棄物減量等推進員や町内会長さんには、今回の視察で学ばれたことを地域の皆さんにお伝えいただき、今後もごみの減量やリサイクルに取り組んでいただきたいと思っています。

## わいわいフォーラムX おばば知っとんさるか 笠松が発祥地なのか

各地で歌われている民謡「おばば」についてのわいわいフォーラムX(町文化協会主催)が2月21日、町民200人が参加して中央公民館で開催されました。

毎年笠松春まつりでは、上柳川町・県町・宮川町・八幡町など出番町内の方たちは、おばばと呼ばれるボボ車に太鼓を打ちながら「おばばどこいきやるナ おばばどこいきやるナ 三升樽さーげて ソウラバエー 嫁の在所へナ 嫁の在所へナ ササ孫抱一きに ソウラバエー」と歌いながら町内を練り歩きます。

田中鴻一ぎふ児童合唱団団長は、おばばは陽音階で歌われていて、伝承された時代や地方により陰音階に変化したのではないかと解説されました。笠松は本来の陽音階で歌い継がれていると解説されました。陽と陰の音階でおばばを歌い陽と陰の違いを指摘されました。

おばばを地域の伝承芸能として、幼児期から伝えることの大切さも提案されました。

藤沢隆明県町おばば保存会世話人は、おばばの起源や県町の巡行の様子を話されました。

最後に山田晴生町文化協会会長も一緒におばばを歌いフォーラムを終了しました。



おばばを歌う田中さん、山田さん、藤沢さん(左から)と県町のはやし方の皆さん

## 笠松みなと公園トンボ広場オープン

笠松みなと公園内のトンボ広場は、4月1日からご利用いただけます。この広場内に限り、制限付きで火気の使用ができますので、公園利用のルールやマナーを守ってきれいに使いましょう。

### 【広場での火気使用可能時間】

午前9時～午後5時

### 【公園駐車場利用時間】

午前8時45分～午後6時

(施設保護のため、4月1日から夜間は入口を施錠します)

※火気使用時には公園内看板の注意事項を厳守してください。